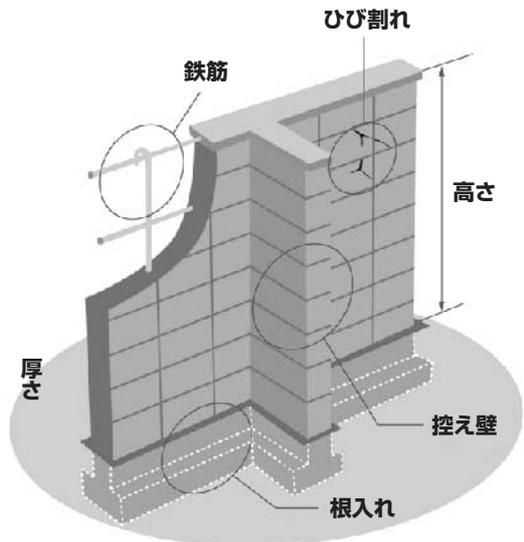


◆ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。



出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」
 日本建築防災協会 2013.1 より一部改正

組積造の塀の場合

(れんが造、石造、鉄筋が入っていないブロック造)

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。
 (専門家に相談しましょう)

点検の結果、危険性が確認された場合は、建築士や専門業者に相談し、速やかに付近通行者への注意表示、補修、撤去などの対応をお願いします。

また、避難路に面した危険性のあるブロック塀の撤去などについては、補助制度(補助限度額30万円)があります。

○お問い合わせ

本庁 情報防災課 消防防災係 ☎43-2188

補強コンクリートブロック塀の場合 (鉄筋が入っているコンクリートブロック塀)

- 1. 塀は高すぎないか
 塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
 塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか(塀の高さが1.2m超の場合)
 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
 コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
 塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 塀に鉄筋が入っているか(専門家に相談しましょう)
 塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。基礎の根入れ深さは30cm以上か。
 (塀の高さが1.2m超の場合)



小型ポンプの部 1位 鞭分団の選手の皆さん



ポンプ自動車の部 1位 入野分団の選手の皆さん

存在となっています。

普段からいざという時に備えて訓練を行っている消防団員の皆さんは地域にとつて、そして黒潮町にとつても頼もしい存在となっています。

この結果は、日ごろからの訓練のほか、それを支える方々の「尽力」の賜です。

- 【結果】
 (小型ポンプの部)
 1位 鞭分団 2位 伊田分団
 3位 蜷川分団
 (ポンプ自動車の部)
 1位 入野分団 2位 佐賀分団
 3位 上川口分団

黒潮町消防団夏季訓練

7月9日(日)、黒潮消防署で黒潮町消防団夏季訓練が実施されました。訓練は、「小型ポンプの部」と「ポンプ自動車の部」にわかれて実戦型放水競技を行いました。いずれの部も水利からホースを延ばして放水し、火点を想定した的に注水して、その早さを競うものです。